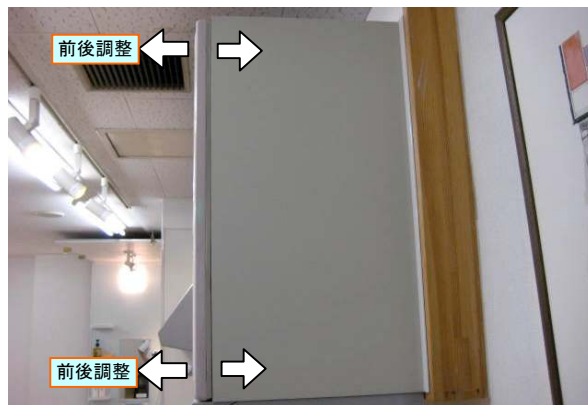
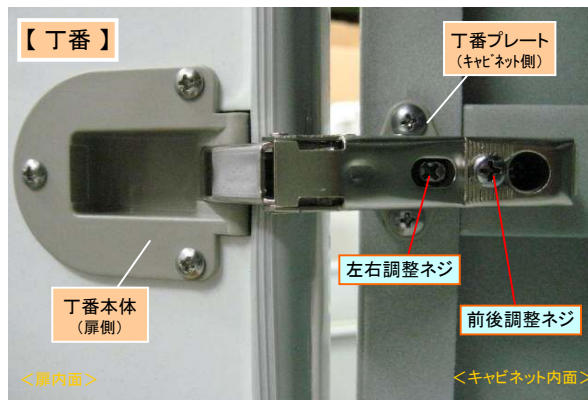


◇丁番で扉の左右、前後方向の調整が出来ます。



<丁番各部の名称>



『扉の脱着方法』



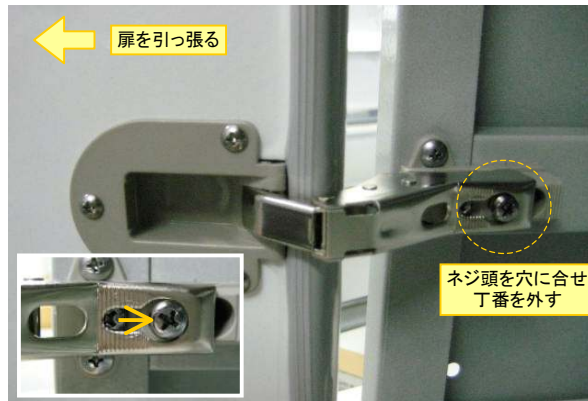
【扉の取り外し手順】

- (1) 扉が落下ないように扉を片手で持ちます。
- (2) もう一方の手で下側の丁番のネジを緩めます。
- (3) 上側の丁番のネジを緩め、扉を外します。

※ 扉の取り付けは、取り外しと逆の手順になります。
上側⇒下側の順に丁番を取り付けます。

注意) 扉の脱着は扉が落下しないよう、最後まで扉から手を離さないでください。

<取り外し方法>

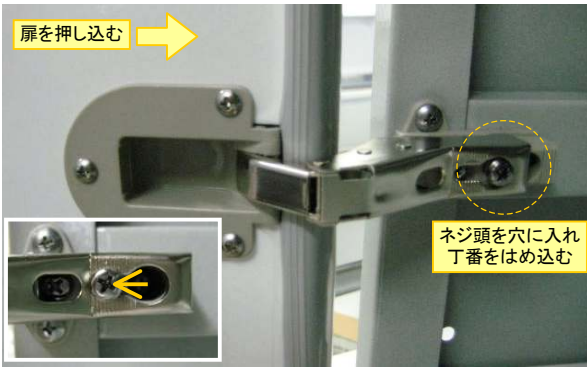


「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。

<<危険>>
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！

扉を引っ張り「前後調整ネジ」のネジ頭を丁番本体のだるま穴に合せて、丁番を外します。

< 取り付け方法 >



「前後調整ネジ」のネジ頭を丁番本体のたるま穴に入れます。
扉を押し込み、丁番本体をはめ込みます。



「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで締めて、丁番を固定します。
注意この時、ネジはしっかり締めてください。締めが甘い場合は後日、扉が『がたつく』
『落下』する危険があります。また、その場合はネジを締め直してください。

『扉の調整方法』

< 左右方向の調整 >



隣の扉とのスキ間を均一にする場合に左右を調整します。
「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。
注意ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

<<危険>>
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！



「左右調整ネジ」を(+)ドライバーで左右に廻すと、扉が動きます。
右開きの扉はネジを左に廻すと左へ、右に廻すと右へ動きます。
左開きの扉はネジを左に廻すと右へ、右に廻すと左へ動きます。



扉の位置を合わせて、「前後調整ネジ」を締めます。

注意この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

注意「調整ネジ」以外のネジは丁番を扉やキャビネットに取り付けるネジのため、通常は廻さないでください。扉が『がたつく』場合にのみ、これらのネジを締め直してください。

< 前後方向の調整 >



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に前後を調整します。

「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。

注意ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

<<危険>>
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！

扉が前後しますので、扉の位置を合わせて、「前後調整ネジ」を締めます。

注意この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。